

国際ロータリー第 2780 地区

横須賀北ロータリークラブ週報

2020～2021 年度



例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会場 かながわ信用金庫追浜支店 3階 横須賀市追浜本町 1-28
 TEL 046 (866) 1515
事務所 鈴木ハイツ 2F 横須賀市追浜町 3-22-202
 TEL・FAX 046 (866) 1801
 URL: <http://www.yokosukakita-rc.jp/>
 E-mail: info@yokosukakita-rc.jp



会 長 前川 永久 副 会 長 芹澤 達之
 幹 事 武藤 修儀 会報委員長 千葉 茂

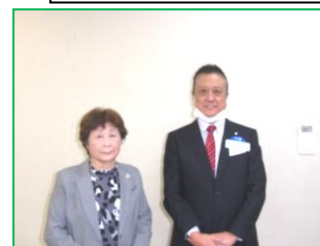
第 2802 回 2020 年 11 月 24 日『火曜日』横須賀北 R C

点 鐘
合 唱
司 会
ゲスト

「横須賀北ロータリークラブの歌」
 前川 永久 会長
 地区財団資金推進委員会委員長
 田後 隆二 様 (相模原中ロータリークラブ)
 地区財団資金推進委員会委員
 小林 康記 様 (横須賀ロータリークラブ)
 補助金配分・VTT 委員会
 清水 恵子 様 (逗子ロータリークラブ)



田後隆二様



清水恵子様 小林康記様

ビジター
誕生日祝
入会記念日のお祝い
「出席報告」

(本日)11月24日

総数	出席対象数	出席数	出席率	メイクアップ	計	修正出席率
21名	20名	12名	60.00%	4名	16名	80.00%

(前々回)11月10日

総数	出席対象数	出席数	出席率	メイクアップ	計	修正出席率
21名	20名	11名	55.00%	6名	17名	85.00%

「メイクアップされた会員」

「ニコニコBOX」

地区財団資金推進委員長 田後隆二様

財団月間の卓話に伺いました。宜しくお願い致します



地区財団資金推進委員 小林康記様

本日は、田後委員長のお供で参りました。宜しくお願い致します

補助金配分・VTT 委員 清水恵子様

本日は委員会随行というより見学として参りました。宜しくお願い致します

三役

地区財団資金推進委員長 田後隆二様、地区財団資金推進委員 小林康記様、補助金配分・VTT 委員 清水恵子様ようこそお越し頂きました。有難うございます。田後隆二様本日は卓話宜しくお願い致します。

福嶋義信会員 田後隆二地区財団資金推進委員長、小林康記地区財団資金推進委員、清水恵子補助金配分・VTT 委員、本日は宜しくお願い致します

小菅健史会員 地区財団資金推進委員長 田後隆二様 地区財団資金推進委員、小林康記様 補助金配分・VTT 委員清水恵子様 ようこそ 本日は宜しくお願い致します

伊澤直樹会員 田後様、小林様、清水様 宜しくお願い致します

ニコニコBOXの合計は 11,000 円(累計 151,000 円)

財団BOXの合計は 8,500 円 (累計 46,544 円)

ご協力有難うございました。次週も宜しくお願い致します

「会長あいさつ」

- ・ 今月はローター財団月間ですので地区より財団資金推進委員長の田後隆二様において頂きました。後程 財団についての詳しいお話を伺います。どうぞよろしく願い致します
- ・ コロナ感染が拡大化されて参りました。当クラブの例会予定として12月に夜間例会を予定しておりますが 状況によっては変更となる場合もあります。1日の理事会で再検討したいと思っております

「幹事報告」

◎横須賀 RC・三浦 RC・横須賀西 RC・横須賀南西 RC より例会のご案内受領

◎第1グループ 三役会のご案内

日 時 12月10日(木) 13:35~

場 所 三浦商工会議所4F

◎本日は11月最終例会ですので財団BOXを廻します。宜しくお願い致します

◎回覧 ①夜間移動例会(12/15) 出欠表 ②ハイライトよねやま248

「委員会報告」

「スピーチ」

【地区財団資金推進委員会委員長

田後 隆二 様 (相模原中ロータークラブ)】

横須賀北 RC 会員の皆様には、日頃よりローター財団へのご寄付にご協力を頂き、誠にありがとうございます。また、ローター財団月間にあたり、卓話の機会をいただき、感謝申し上げます。私は、地区財団資金推進委員長の田後隆二(相模原中ロータークラブ)です。どうぞよろしくお願いいたします。



本日は、皆様に快くご寄付いただけるよう、ロータリー財団の基本的な知識と寄付金の活用などについて、2020～2021年度ロータリー財団ハトブックを使ってお話しさせていただきます。

ご寄付は自発的に行っていただくもので、強制されるべきものではないことが大前提ですが…、地区目標はハトブック4ページに記載のとおり、

年次基金寄付 200 ドル以上/1名

ポリオプラス寄付 40 ドル以上/1名

恒久基金寄付 1,000 ドル以上/1クラブ

を掲げております。例年通りですが、今年度もご協力をお願いいたします。

すでに、今年度目標を達成されている皆様には、心より感謝申し上げます。

さらに久保田がバナは、年次基金寄付の地区総額 50 万ドル以上、ゼロクラブゼロ、ゼロ会員ゼロという目標を掲げられています。

ゼロクラブゼロという目標は、おかげさまで毎年達成してきておりますが、地区総額 50 万ドル以上という数字は、会員総数を 2,500 名として（実際には約 2,300 名）、全員が 200 ドル以上で達成できる計算になります。ゼロ会員ゼロ達成についても目標は高いですが、ご協力よろしくをお願いいたします。

ロータリー財団を理解するには、用語の知識が必須です。

まず、寄付の種類です。ハトブック5ページをご覧ください。

年次基金寄付

3年間運用し、運用益は、ロータリー財団の管理運営費に充てられます。

元金は全額、地区補助金・グローバル補助金などとして活用されます。

恒久基金寄付

元金は使用しません。

1年間の運用益のみが、地区補助金・グローバル補助金などとして活用されます。

恒久基金は、意識されていないクラブが多いようです。

クラブごとの過去3年分の財団寄付額一覧がハトブック29ページにありますので、参考にしていただければと思います。

成績表みたいで心苦しいのですが、貴クラブの状況も記載のとおりです。

使途指定寄付

ポリオプラスなどの使途を指定した寄付です。

ポリオプラスについては、ハトブック19ページに記載があります。

プラスとは、はしか、ジフテリア、破傷風、百日咳、結核を指します。

残るはパキスタン、アフガニスタンの2か国だけですが、当該国の症例数は、なかなか減少していかない状況にあります。

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

		2020年～ 10/21	2019年	2018年	2017年
常在国	パキスタン	79	147	12	8
	アフガニスタン	53	29	21	14
世界合計		132	176	33	22

次に、シェアシステムについてお話しします。ハトブック6ページをご覧ください。6ページは、シェアシステムを理解しやすくした架空の金額です。実際の地区財団活動資金の収支はハトブック28ページに記載があります。

皆様からのご寄付がどのように活用されているのか、何に役立てられているのかについてご説明します。

シェアシステムについてお話しする前に、[ハトブック7ページ](#)をご覧ください、活動資金、補助金の種類と決定機関の名称を整理したいと思います。

TRF : The Rotary Foundation (ローター財団)

DDF : District Designated Fund (地区財団活動資金)

WF : World Fund (国際財団活動資金)

DG : District Grants (地区補助金)

GG : Global Grants (グローバル補助金)

実施年度からみて3年前の年次寄付額をシェアすることから、実施年度、申請年度(計画年度)、確定年度、資金年度という言葉を使います。

当地区では、久保田年度(2020-21年度)を実施年度とすると、杉岡年度(2019-20年度)が申請年度(計画年度)、脇年度(2018-19年度)が確定年度、大谷年度(2017-18年度)が資金年度となります。

すなわち、久保田年度(2020-21年度)では、杉岡年度(2019-20年度)の申請・計画に基づき、大谷年度(2017-18年度)の年次寄付額がシェアされます。

また、久保田年度(2020-21年度)での申請・計画は、田島年度(2021-22年度)に実施されます。

それでは、[ハトブック6ページ](#)に戻ります。

実施年度からみて3年前の年次寄付額と恒久基金の1年間の運用益を合算し、その50%がDDFとして地区に配分され、残り50%はWFとしてTRFが管理・活用します。

DDFは、さらにDG、GGに配分され、GGにはDDFの前年度繰越金が加算されます。

DDF・DG(DDFのうちのDG)は、クラブ奉仕プロジェクト、地区奨学金などに使用されます。

クラブ奉仕プロジェクトへのDGは、クラブの皆さんにとって、一番関心のあるところだろうと思います。クラブ奉仕プロジェクトにかかるDGの概要は、[ハトブック8ページ](#)にあります。

申請を予定されている場合は、地区補助金説明会(第1回:10月24日、第2回:1月30日)に必ずご出席ください。説明会や参考資料については、あとでご説明するグローバル補助金も含め、[ハトブック10ページ](#)をご確認下さい。

地区奨学金は、国内から海外の大学・大学院等に留学する学生に支給されます。よくある誤解ですが、財団奨学生と米山奨学生・青少年交換留学生とは違います。

あとで説明するGG奨学生とともに募集し、選考試験を行います。留学先での研究分野は、6つの重点分野に限定されません。

財団奨学生は、国内から海外へ留学するため、留学中は、我々との接点はほとんどありません。留学を終えて帰国してから、財団学友としてローターの活動に参加してくれています。奨学生募集については、[ハトブック25,26ページ](#)、最近の奨学生一覧は[ハトブック39,40ページ](#)をご覧ください。

DDF・GG(DDFのうちのGG)は、使途が[ハトブック7ページ](#)にある6つの重点分野の一つ以上に該当することが必須で、GGプロジェクト、VTT、GG奨学金、平和センター、ポリオプラスなどに使用されます。

なお、2021年7月から「環境の保全」という新たな重点分野が追加されます。

GGプロジェクトは、重点分野に該当する大規模・中規模プロジェクトです。

ハードルは高いですが、最近のプロジェクト一覧が[ハトブック37,38ページ](#)にありますので、参考にしてください。

VTT : Vocational Training Team (職業研修チーム)については、[ハトブック20ページ](#)をご

覧ください。

最近の実例は、GGプロジェクトとともに[ハトブック 37, 38 ページ](#)に記載されていますが、決して多くはありません。

GG 奨学金は、地区奨学金と同様、国内から海外の大学院等に留学する学生に支給されます。ただし、6つの重点分野に限定されます。最近の奨学生一覧が[ハトブック 39, 40 ページ](#)にあります。

2017年に国連事務次長に就任された、中満 泉（なかもつ いずみ）さんは、当地区厚木RCの推薦を受け、1987-88年度財団奨学生として留学し、世界に羽ばたかれた方です。世界で活躍する優秀な人材を一人でも多く輩出するためにも、皆様のご寄付をお願いいたします。

平和センター・平和フェローについては、[ハトブック 21-24 ページ](#)をご覧ください。我が国では、国際基督教大学（ICU）に平和センターが設置され、毎年約10名の平和フェローが大学院博士前期課程に所属し、平和と紛争解決を中心とする国際問題研究に従事しています。平和フェロー一覧は、[ハトブック 41 ページ](#)にあります。当地区もホストエリアを構成し、カウンセラーをお引き受けしていることから、例年、平和フェローが地区大会に参加してくれています。また、クラブからのご希望があればICUの授業日程と調整の上、例会での卓話訪問は可能とのことです。

以上、当地区における寄付金活用事例を紹介しましたが、TRF全体の収支は、[ハトブック 30 ページ](#)記載のとおりです。

[ハトブック 19 ページ](#)にあった、ビル&ミンダ・ゲイツ財団からの倍額寄付を含め約半額が、ポリオプラスに費やされています。

次に認証についてご紹介します。[ハトブック 13-18 ページ](#)をご覧ください。

ロータリー財団では、個人やクラブからのご寄付に対して感謝の気持ちを表すために、さまざまな認証プログラムをご用意しています。

「認証」というより、「顕彰」といった方がピンとくるかもしれません。

まず、個人からのご寄付に対する認証。[ハトブック 13, 14 ページ](#)です。

「財団の友」会員

年次基金に毎年100ドル以上寄付する方 ベネファクター

恒久基金に1,000ドル以上寄付した方 ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
年次基金、ポリオプラス、グローバル補助金プロジェクトに累計1,000ドル以上でポール・ハリス・フェローとして認証され、さらにプラス1,000ドルごとに+1から+8（累計9,000ドル）まで、マルチプル・ポール・ハリス・フェローとして認証されます。

ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）

毎年合計1,000ドル以上を、年次基金、ポリオプラス基金、グローバル補助金プロジェクトに寄付する方

遺贈友の会

恒久基金に10,000万ドル以上の寄付を誓約した方

メジャードナー

寄付の分類に関係なく、累積寄付の合計が10,000ドルに達した方

当地区では93名（2020年7月末現在）の方が、メジャードナーです。メジャードナー候補者（7,000ドル以上、10,000ドル未満）は59名（2020年7月末現在）いらっしゃいます。

アーチ・クラブ・ソサエティ（AKS）

寄付の分類に関係なく、累積寄付の合計が250,000ドルに達した方

当地区では3名（2020年7月末現在）いらっしゃいます。

レガシー・ソサエティ

恒久基金に1,000,000ドル以上の寄付を誓約された方
以上、財団認証ポイントについての詳細は、[ハトブック17,18ページ](#)をご参照ください。
次に、クラブからのご寄付に対する認証。[ハトブック15,16ページ](#)です。

Every Rotarian, Every Year クラブ

1年度中に正会員全員が、年次基金へ少なくとも25ドルの寄付をし、1人当たりの年次基金平均寄付額が100ドルに達しているクラブ

100%ローター財団寄付クラブ

1年度中に正会員全員が、寄付分類に関わらず少なくとも25ドルの寄付をし、1人当たりの平均寄付額が100ドル以上に達しているクラブ

100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ

正会員全員がポール・ハリス・フェローとなったクラブ（1度限り）

100%ポール・ハリス・ソサエティ・クラブ

1年度中に正会員全員が、年次基金、ポリプラス基金、グローバル補助金プロジェクトのいずれかに合計1,000ドル以上寄付したクラブ

年次基金への1人あたりの寄付額上位3クラブ

各地区で1人あたりの年次基金への平均寄付額が上位3位（少なくとも50ドル以上）のクラブ

冠名基金、冠名指定寄付も用意されています。[ハトブック11ページ](#)に一部記載があります。寄付者または特定の方のお名前のついた冠名基金または冠名指定寄付としてご寄付いただくことも可能です。

RI: Rotary International（国際ローター）会長によるローター賞には、財団寄付に関する項目もあります。[ハトブック15,16ページ](#)です。

ローター財団功労表彰状

ローター財団と関連した活動に積極的に取り組んだロータリアンを称える賞です。

ローター財団特別功労賞

ローター財団において模範的な奉仕を実践したロータリアンに与えられる財団最高の賞です。ロータリアンは、功労表彰状を受賞後、少なくとも丸4年が経過してから、財団特別功労賞の候補者となる資格を得ます。

ローター財団地区奉仕賞

財団プログラムを通じて優れた奉仕活動を実践したロータリアンを表彰するものです。ローター財団の基本理念と歴史については、[ハトブック1,2ページ](#)に記載のとおりです。「世界で良いことをしよう（Doing good in the world）」という基本理念と、100年以上前の1917年に提案したアーチ C. クランフ（Archibald (Arch) Cooper Klumph）のお名前は、ご記憶に留めていただければと思います。

地区ローター財団委員会の役割については、[ハトブック2-4ページ](#)に記載のとおりです。委員会組織は大中小の3層構造になっています。

大委員会 ローター財団委員会

中委員会 補助金委員会

小委員会 補助金配分・VTT 委員会

平和フェロー・奨学金委員会

補助金管理委員会

資金推進委員会（ポリオプラス・ローターカードを含む）

クラブの財団委員会の役割については、ハンドブック4,5ページに記載のとおりです。財団寄付の意義・重要性について、会員の皆様にご理解いただき、自発的なご寄付を促していただきますよう、よろしくお願いいたします

～例会風景～

